

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします

令和8年5月26日

質問者氏名 杉森 弘之

牛久市議会議長 殿

質 問 形 式		一括方式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要 旨
1、便利で使いやすい公共交通の整備のために	<p>(1) 最近の10年間で、民間路線バスの乗客数が維持されていることについて、路線数や便数の減少と乗客数の関係等、この間の推移、現状とその要因をどのように考えているか。また、4年後の路線バスの利用者数目標を現状より8万人減の181万人としているが、路線数・便数の減少計画の有無を含め、その理由は。</p> <p>(2) かつば号について</p> <p>① かつば号は民間路線バスが撤退した地域において、一定程度の利用客が見込める路線に特化して運行することになるが、かつば号の路線、便数の変更はあるのか、「空気を運んでいる」路線の問題は解消したのか。</p> <p>② かつば号の中心的な路線での自動運転化に向け、この間、どのような進展があったか。</p> <p>(3) うしタクについて</p> <p>① うしタクは、デマンド型タクシーからデマンド型バスへの強化・改革が必要ではないか。うしタクの2029年度の利用者数も現状維持ではなく、現状の2倍から4倍にする意気込みで取組んだらどうか。うしタクの名称も、タクシーではなく、バスを印象付けるものにしてはどうか。</p> <p>② 気軽に使いやすくするため、運賃は路線バスに近い200円か300円程度、子どもや高齢者、障がい者は半額割引にしたらどうか。</p> <p>③ 朝夕の通勤・通学や外食にも便利良くするため、運行時間は午前7時半から午後7時半まで、土日祝日も含め運行休日なしで運行してはどうか。</p> <p>④ うしタク利用のために、住民登録や会員登録は不要ではないか。</p> <p>⑤ 経費と機能の両面で、よりよい運行管理システムを活用すべきではないか。</p> <p>⑥ 市民の要望の強い病院、商業施設等を中心に、市の境界を越えて運行区域を広げるために、積極的に諸手続きを推進する必要があるのではないか。</p> <p>(4) 福祉有償運送事業者とボランティア移送サービスの運転士確保の見通しと、持続性についてどのように考えているのか。福祉有償運送事業者の運転士の年齢は。</p>